

# GO!

第49回  
衆議院議員  
総選挙

わたしは選ぶ わたしが変わる

# VOTE



全日本民医連

民医連新聞

民医連新聞発行所 全日本民主医療機関連合会 発行人 岸本啓介  
2021年9月24日号外 (1966年9月13日第三種郵便物認可)



# いのちが最優先される社会へ



新型コロナ感染が拡大する中、補償なき自粛、GOTOキャンペーン  
いのちよりもオリ・パラ開催を優先する政治によって、  
今もなおたくさんのいのちが危険にさらされています。  
今度の選挙で私たちはこんな政治を変えることができます。  
私たちにとっての希望は、一人ひとりが『選挙』という権利をしっかりと  
行使することです。「いのちを守る」政治へ変えるのは、  
「いのちと向き合う」私たちの意思と行動です。



## 2021年総選挙にあたっての **全日本民医連要求**

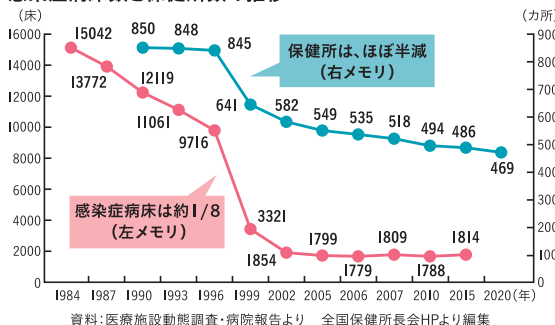
POINT  
01

### コロナから国民のいのちが守れる国に

これまでの医療・公衆衛生体制の縮小を背景に、くりかえし  
新型コロナ感染拡大の大波が起こっています。こうした中  
にあって「自助・共助」を基本とした全世代型社会保障改革を  
さらに推進しようとしています。

感染拡大を抑え込むためには医療・公衆衛生体制を立て直し、  
ワクチン接種やPCR検査体制の充実が必要です。また、  
民医連の調査や生活相談の中でも明らかになった生活困難  
への支援強化が求められています。

感染症病床数と保健所数の推移



POINT  
02

### 安心して医療・介護を受けることができる社会を

新型コロナ感染拡大の中、6月の通常国会で75歳以上の医療費窓口負担に2割負担を導入する「高齢者医療費2倍化法」が(自民、公明、維新、国民民主各党などの賛成多数で)成立。医療費が倍になれば受診控えも起こりかねません。  
誰もが金銭の心配なく安心して医療・介護が受けられる社会への転換が必要です。

POINT  
03

### 医療・介護の提供体制の拡充を

政府はこれまで、社会保障費の削減のためと病床削減や、公的・公立病院の再編統合を行ってきました。その結果、新型コロナ感染拡大で、病床がひっ迫し、各地で患者が行き場を失い「自宅療養」を余儀なくされました。今後起こりうる新興感染症や自然災害に対応できるよう、医療・介護、福祉を担うエッセンシャルワーカーの確保と十分な医療提供体制の整備が求められます。



POINT  
04

### 応能負担で、公正な税制を

社会保障の改善・充実の財源は、国民負担ではなく国と大企業に応分の負担を求めることが重要です。消費税などの不公平な税制をただし、大企業や富裕層への課税を強めれば社会保障が充実できます。

POINT  
05

### 憲法を守り平和で安全な社会へ

政権与党は「国民投票法」を呼び水に、改憲への動きにつながようとしています。緊急事態条項の創設による「人権制限」や、9条が謳う「戦争の放棄」「交戦権の否認」の無効化などをねらう政権に、私たちのいのちや暮らしを守ることはできません。

